

## 第9回 線形写像

### 定義 9.1 (固有値・固有ベクトル)

写像  $f: \mathbb{F}^n \rightarrow \mathbb{F}^m$  が**線形性**と呼ばれる2つの性質:

- (1)  $\forall \mathbf{x}, \mathbf{y} \in \mathbb{F}^n, \quad f(\mathbf{x} + \mathbf{y}) = f(\mathbf{x}) + f(\mathbf{y})$
- (2)  $\forall \mathbf{x} \in \mathbb{F}^n, \forall \alpha \in \mathbb{F}, \quad f(\alpha \mathbf{x}) = \alpha f(\mathbf{x})$

を満たすとき、 $f$  を **線形写像** または **線形変換** という。

### 命題 9.2 (線形写像と零ベクトル)

線形写像  $f: \mathbb{F}^n \rightarrow \mathbb{F}^m$  は  $f(\mathbf{0}_n) = \mathbf{0}_m$  を満たす。ただし、 $\mathbf{0}_n$  は  $\mathbb{F}^n$  の零ベクトル、 $\mathbf{0}_m$  は  $\mathbb{F}^m$  の零ベクトルである。

証明  $\mathbf{0}_n + \mathbf{0}_n = \mathbf{0}_n$  なので、 $f(\mathbf{0}_n + \mathbf{0}_n) = f(\mathbf{0}_n)$ 。  $f$  は線形写像なので、

$$f(\mathbf{0}_n) + f(\mathbf{0}_n) = f(\mathbf{0}_n)$$

が成り立つ。両辺に  $-f(\mathbf{0}_n)$  を加えると

$$f(\mathbf{0}_n) + f(\mathbf{0}_n) - f(\mathbf{0}_n) = f(\mathbf{0}_n) - f(\mathbf{0}_n)$$

を得る。したがって  $f(\mathbf{0}_n) + \mathbf{0}_m = \mathbf{0}_m$  であるから、 $f(\mathbf{0}_n) = \mathbf{0}_m$  が成り立つ。 □

練習 9.1  $\mathbf{x} := \begin{pmatrix} \alpha \\ \beta \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^2$  とする。

(1)  $\mathbf{x} = \alpha \mathbf{e}_1 + \beta \mathbf{e}_2$  が成り立つことを確かめよ。

(2)  $f: \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^2$  を線形写像とする。このとき、

$$f(\alpha \mathbf{e}_1 + \beta \mathbf{e}_2) = \alpha f(\mathbf{e}_1) + \beta f(\mathbf{e}_2)$$

が成り立つことを示せ。

### 命題 9.3 (線形写像を行列で表す)

線形写像  $f: \mathbb{F}^n \rightarrow \mathbb{F}^m$  は、ある  $m \times n$  行列  $A$  を用いて  $f(\mathbf{x}) = A\mathbf{x}$  と表せる。このときの  $A$  を  $f$  の **表現行列** という。

証明 省略。 □

練習 9.2 線形写像  $f: \mathbb{R}^3 \rightarrow \mathbb{R}^3$  が、

$$f(\mathbf{e}_1) = \begin{pmatrix} 5 \\ 1 \\ 4\beta \end{pmatrix}, \quad f(\mathbf{e}_2) = \begin{pmatrix} 7 \\ -1 \\ 0 \end{pmatrix}, \quad f(\mathbf{e}_3) = \begin{pmatrix} 3 \\ 2 \\ 1 \end{pmatrix}$$

を満たすとき、 $f$  の表現行列を求めよ。

**命題 9.4** (行列の定める線形写像)

写像  $f: \mathbb{F}^n \rightarrow \mathbb{F}^m$  が,  $\mathbb{F}$  を成分に持つ  $m \times n$  行列  $A$  を用いて  $f(x) = Ax$  と表せるとき,  $f$  は線形写像になる。このときの  $f$  を **行列  $A$  の定める線形写像** といい,  $f_A$  と表す。

**練習 9.3** 命題 9.4 を証明せよ。

じ

**定理 9.5** (行列の定める線形写像)

$\mathbb{R}^2$  において, 原点を中心に反時計回りに角度  $\theta$  だけ回転させる移動は  $\mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}^2$  の線形変換で, その表現行列は  $\begin{pmatrix} \cos \theta & -\sin \theta \\ \sin \theta & \cos \theta \end{pmatrix}$  である。この行列を **回転行列** という。

**練習 9.4** 定理 9.5 を証明せよ。

じ

**定義 9.6** (線形写像の像と核)

線形写像  $f: \mathbb{F}^n \rightarrow \mathbb{F}^m$  に対して, 以下の用語を定義する:

- (1)  $\text{Im } f := \{f(x) \in \mathbb{F}^m \mid x \in \mathbb{F}^n\}$  :  $f$  の **像 (イメージ)**
- (2)  $\text{rank } f := \dim(\text{Im } f)$
- (3)  $\text{Ker } f := \{x \in \mathbb{F}^n \mid f(x) = \mathbf{0}\}$  :  $f$  の **核 (カーネル)**
- (4)  $\text{null } f := \dim(\text{Ker } f)$

**定理 9.7** (次元公式)

線形写像  $f: \mathbb{F}^n \rightarrow \mathbb{F}^m$  について,

$$\text{rank } f + \text{null } f = n$$

が成り立つ。この式を**次元公式**という。